

# 金竜だより

令和4年 1月 11日  
台東区立金竜小学校  
TEL 3871-9893  
ホームページ



<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230>

今年もどうぞよろしくお願ひいたします

校長 古谷 尚律

まだまだ新型コロナウイルス感染のニュースに一喜一憂する毎日でしたが、皆様方はどのような年末年始をお過ごしだったでしょうか。

昨年も感染拡大防止のため、学校での諸行事に地域・御来賓の皆様を御招待できず、大変心苦しく思っておりました。保護者の皆様にも運動会代替行事の「金竜スポーツフェスティバル」など、人数や学年により見学時間を制限して御参観いただかなければならないことが多々あり、申し訳ありませんでした。今年こそは皆様に子供たちの活動を少しでも参観いただけるような状況となることを期待しております。

さて、2022年が始まりました。干支でいいますと「壬寅」（みずのえ・とら）の年です。

「壬」という漢字は、鍛造する台を表した象形文字だそうです。そこから、「支える。担う。」といった意味が発生し、「次の生命を育む準備の時間」の意味があるそうです。「寅」という漢字は、弓矢を両手で引き絞る形を表した象形文字だそうです。矢が放たれる準備段階を示していることから、「動き始め。胎動。」といった意味が発生し、「春の発芽の状態」を表すそうです。そのことから「壬寅」は、「冬の厳しい時期を耐え忍ぶことで、春には生命力あふれて華々しく生まれ変わる状態」を意味し、「華々しい成果が期待できる、希望にあふれる年」とされています。まずは、「成果を期待して努力し、自分の実力を蓄えていく」こと大切である年ではないかと考えています。

今年は、金竜小学校創立110周年の年です。11月19日には、記念式典を挙げる予定です。創立記念のめたい今年。地域の方にとっても、児童にとっても、保護者の皆様にとっても記念すべき式典とするために、それまでは特に感染拡大防止のために、「検温・マスク・手指消毒」に努めていきたいと思ひます。諸行事の実施方法も変更していかねばならない場合もあるかと思ひます。地域保護者の皆様には毎年の行事を楽しみにされていらっしゃる方が多いかと思ひます。皆様にはその都度、御説明させていただきますので、どうぞ御理解と御協力を願ひいたします。

## 理科 - 期待する子供の姿・めざす授業の姿 -

### 3年・4年 理科担当

「主体的に取り組む態度」（通知表の3項目目で評価している領域）と聞くと「学習態度」を連想されると思ひます。例えば、先生の話をしっかり聞いている。ノートをしっかりとしているなどです。しかし、それだけではありません。自分の思考をモニターしコントロールする力も含まれています。これが「主体的に取り組む」の意味です。教育用語では、「メタ認知」と呼びます。思考に関係することなので「思考力・判断力・表現力」（通知表の2項目目で評価している領域）に深く関係しています。具体的に述べますと、3年生では自然の事物・現象を比べ、共通点・相違点に気付き粘り強く「問題」を見出そうとすること、また、4年生では、これまで学習したことや生活経験を思い出し「根拠のある予想・仮説」を粘り強く発想しようとするようになります。

もうお分かりのように、

**教師は「記録して記憶する」より「考えて表現する」子供の姿、さらに「聞いて理解する」より「議論して理解を深める」子供の姿を期待しています。**

これは、私にとって、めざす授業の姿でもあります。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。